

日々の生活を少し見直そう！

ごみの減量化・資源化に協力を

ごみは家庭や職場など、日常生活の中から毎日排出されています。そのうち、これまでの消費に対する考え方を改め、環境に優しい循環型社会づくりを推進する上で、ごみの減量化・資源化は大きな課題です。

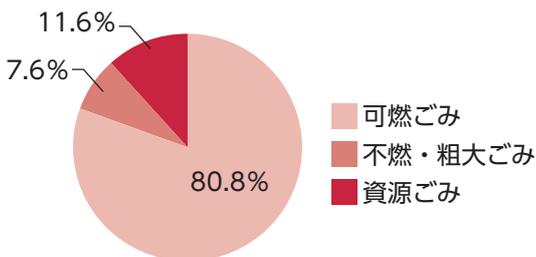
一人一人の小さな工夫と日々の心掛けが、ごみの減量化への第一歩となります。皆さんも毎日の生活をもう一度見直し、ごみの減量化・資源化に協力してください。

ごみの総排出量は減少するも、可燃ごみは増加傾向

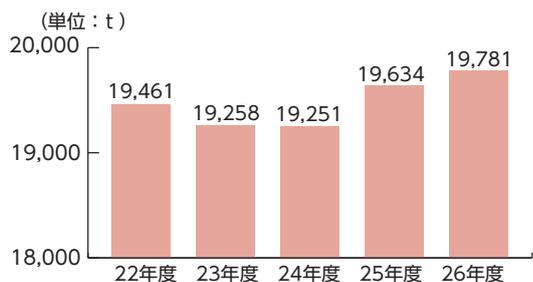
現在、旭市の可燃・不燃・粗大・資源ごみを合わせたごみの

総排出量は、減少傾向にありま
す。しかし左図のとおり、過去
5年間のごみの種類別排出割合
で全体の約80%を占める可燃ご
みの排出量は、一時は減少した
もののここ数年は増加傾向と

過去5年間のごみの種類別排出割合



可燃ごみの排出量推移



なっています。

今後市では、引き続きごみの減量化と資源化の推進に取り組みていきます。

取り組みは簡単！ 日々の生活を見直そう

● 生ごみの水を切る

生ごみの約70%は水分です。水分が多いまま出してしまうとごみの重さが増し、嫌なにおいも発生します。また焼却場の燃焼効率も下がります。消費燃料やCO2発生量の増加にもつながってしまいます。生ごみは水を切って出しましょう。

● 紙類を正しく分別する

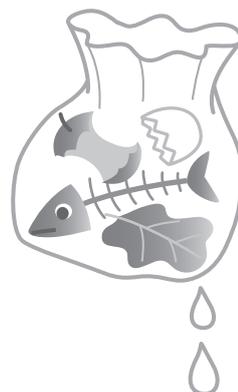
リサイクルできる紙類を可燃ごみとして出していませんか。雑誌や新聞、ダンボール、紙製

の包装、紙袋、紙パックなどは資源ごみとして出すことができます。紙類を正しく分別しましょう。

● ごみの発生を抑える

ごみをどのように処分するかだけでなく、ごみを発生させないよう考えることも、ごみの減量化にはとても重要です。ごみの発生を抑える取り組みには、次のようなものがあります。

- ① 買い物にはマイバッグ(買い物袋や風呂敷、バスケットな



ど)を持参する。

- ② 外食の際には食べきれない量を注文する。

- ③ 食材などは必要な分だけを購入し、計画的に使い切る。

- ④ 使い捨てではなく長く使えるものを選ぶ。

- ⑤ マイボトルやマイ箸などを持ち歩く。

問い合わせ先

環境課環境政策班

☎ 62・53208